

世界最大の医療技術見本市

コンパメッド

「COMPAMED 2019 (ドイツ・デュッセルドルフ)」に 横浜パビリオンを出展します！

横浜市経済局及び(公財)横浜企業経営支援財団(以下、「IDEC 横浜」)では、市内の中小ものづくり・IT関連企業が今後大きな成長の見込まれる医療・健康分野で新たなビジネスチャンスを確認できるよう、LIP.横浜[※]にて「横浜医工連携プロジェクト」を進めています。

この取組の一環として、各社の有する革新的な技術の海外展開のため、11月18日からドイツで開催される世界最大の医療技術見本市である「COMPAMED 2019 (国際医療機器技術・部品展)」に3回目となる「横浜パビリオン」を出展します。昨年、パビリオンでは、500名を超える来場者があり、100件以上の商談が行われ、成約案件も生まれるなど着実に出演企業のビジネスが拡大しています。

今年は初出展企業2社を加え、さらにIDEC横浜、横浜市のプレゼンテーションでLIP.横浜のPRも実施するなど、さらなる販路開拓やパートナーの開拓等に向けた支援を行っていきます。

注) LIP.横浜とは…



横浜から、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。

1. 「COMPAMED 2019」の概要 <https://www.compamed-tradefair.com/>

- (1) 名称：「COMPAMED 2019 (国際医療機器技術・部品展)」
- (2) 会期：2019年11月18日(月)～21日(木)
- (3) 会場：ドイツ・デュッセルドルフ見本市会場
- (4) 主催：(株)メッセ・デュッセルドルフ
- (5) 出展社数：800社(内日本企業84社、MEDICA 合わせ195社。いずれも過去最高)
- (6) 来場者数：約12万人(前回2018年実績) ※併設見本市「MEDICA (国際医療機器展)」来場者との合算

COMPAMED[®]



2. 「横浜パビリオン」概要

- (1) 出展小間：ホール8a / J 33、5小間 (30 m²)
- (2) 出展社：
 - ・協立金属工業株式会社(金沢区)
 - ・株式会社JMC(港北区)
 - ・ジャパンプローブ株式会社(南区)
 - ・シンクランド株式会社(鶴見区)
 - ・株式会社横浜ネプロス(旭区)

計5社(五十音順) ※下線は初出展企業。

- (3) 事務局：IDEC横浜



【参考】

出展企業詳細

<p>① 協立金属工業株式会社 (金沢区) 伸線業(ばね用ステンレス鋼線、その他)</p>	<p>医療用ステンレス鋼線 異形線</p>
<p>超極細線の伸線技術を活かした医療用ステンレス鋼線及び異形線、芯棒を展示。 カテーテル、ガイドワイヤー等への応用を期待。</p>	
<p>② 株式会社 JMC (港北区) 3Dプリンター等による試作品・商品の製造、販売</p>	<p>3Dプリンターによる臓器モデル</p>
<p>心臓カテーテルの医師向けトレーニングシステム「HEARTROID(ハートロイド)」を展示。 その他 3D プリンティング技術を活かした臓器モデルを展示予定。今回初出展。</p>	
<p>③ ジャパンプローブ株式会社 (南区) 超音波検査・計測によるソリューション事業</p>	<p>曲がる超音波プローブ</p>
<p>数々の賞を受賞した曲がる超音波プローブ「曲探」を展示。 また内閣府 ImPact で研究開発した光超音波技術も展示。今回初出展。</p>	
<p>④ シンクランド株式会社 (鶴見区) 光学・電気技術を用いた医療機器等製造・販売</p>	<p>マイクロニードル (無痛注射針)</p>
<p>無痛、生体吸収性等の特長をもったレーザー照射によって作成されるマイクロニードル。 インスリン機器向けなどに開発中。量産モデルを展示予定。</p>	
<p>⑤ 株式会社横浜ネプロス (旭区) 工業用化学研磨剤の製造・販売</p>	<p>ネプロス処理を施したサンプル品 (注射針、内視鏡用小径部品等)</p>
<p>ネプロスという化学研磨剤に漬け込み微細・複雑形状のバリ取り可能な技術を展示。</p>	

〈昨年 (COMPAMED2018) の様子〉



活発な商談の様子



出展企業による技術プレゼンテーションの様子

お問合せ先

公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部技術支援部長	加藤 盛司	Tel045-225-3733
横浜市経済局ライフイノベーション推進課 担当課長	石津 雄一郎	Tel045-671-3591

※本件は、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会及び横浜経済記者クラブに同時発表しています。